

明治十四年

十七五村聯合會議  
關係書類入袋

十二月  
本間存知

ノ十

町名

七千丁

十七ヶ村聯合會議事細則

第二章 議事 整理

第一條 議事ノ修繕ハ議長ノ指揮ニ依ルヘシ

第二條 議長ノ席次ハ圖面ヲ以テ議事ノ之ヲ定ム

第三條 議事ノ議長ノ姓名ヲ稱スニテ席次ノ

番号ヲ用ユヘシ

第四條 議長外議事ノ起リタル事ハ議長

之ヲ決シ或ハ議會ノ決ヲ採ルヘシ

第三章 議案

第五條 修正說ハ其名以上ノ賛成者十ヶレハ議決

トナス下レヲ得ス

第七條 議案

第六條

修正議ハ第六條ガ會ヲ三ツ分ケニ於テ之レヲ  
提出スル下レヲ得但シ第六條ガ會ニ於テ賛成

者ナキニテノ及シ第六條ガ會ニ於テ三ツ分ケノ

賛成者ナキモ之レヲ議決トスルコ

トヲ得ス

録

第七條

修正議ヲ提出セントスル者ハ録シテ文

案トナシ之レヲ議長ニ出シ又ハ議長ニ

於テ陳述スル下レヲ得

二

第八條

修正議ヲ否決スルモノハ其日將會ニ於

テ之レヲ提出スル下レヲ得ス

第九條

議案ヲ提出スルハ議長ハ書記ヲシテ

議案ヲ朗讀セシム可シ

第十條

議案ヲ三ツ分ケテ第六條ガ會ニ於テハ

第六條ガ會ヲ用ケテ第六條ガ會ニ於テハ

第六條ガ會ニ於テハ第六條ガ會ニ於テハ

第六條ガ會ニ於テハ第六條ガ會ニ於テハ

第十一條

議案ノ都合ニ因リ少ク議決スル下レヲ

可シ



但中身議、議長、副議長ヲ以議長ト  
トスルヘシ若シ副議長名簿ノ中ハ議  
名中ヨリ任議長ヨリ公解スルシ

第三章 第五節

第十二條 議長ト稱スル者ハ起立シテ議長ト  
自己ノ番号ヲ呼ビ議長ノ許可ヲ得

第十三條 議長自ラ棄言セシト称スル中ハ副  
議長ヲシテ職務ヲ代理セシムル

第十四條 第三次會ニ於テハ一議途ニ於テ棄言

三

武回ニ起ルヲ得ス

第十五條 議長ニ於テ全會ヲ論議ヲ為スル  
アリト認ムル時ハ之ヲ制止スルヲ  
得ル

第四章 決議

第十六條 出席ノ議員ハ可否ノ數ヲ入ラサルヲ  
得ス

第十七條 可否ヲ決スルハ總テ起立ヲ以テス可シ

第十八條 修正議ハ原案ニ先テ可否ヲ決ス可シ

其数多キ中ハ最モ原案ニ異ナ

モノヲ先キス其先後ニ論アル中ハ

総テ修正案決定ニ先キテ議長

之レヲ決シ或ハ合議ノ決ヲ取ルル

第十九條

議長ノ意見若シハ議多ク或名以上

ノ請求ニ因リ議案ヲ合シ又ハ條

項ノ順序ニ拘ラスシテ議決セト

スル中ハ議長之ヲ決シ或ハ合議ノ

決ヲ採ルル

第二十條

辨論未ク終ラスト莫ク議長ニ於テ

四  
於  
ル

端旨既ニ盡キタリト認ルル中ハ其

之レヲ合議ニ回ラシ其議決ヲ取

ル

第二十一條 可否ノ教ハ書記之レヲ撰シ其決

定ハ議長之レヲ撰ル

第二十二條 議事ノ取締

議事ノ中ハ議長相和語ニ準テ議

事ヲ妨クルノ舉動アルハカラス

第二十三條 議事ノ中ハ漫ラシ議案ヲ

退クテ得ス



第二十四條 身遲多ノ議長ノ議長ノ許可ヲ

得テ議長ニ着クシ

第二十五條 議長ノ意見ヲ以テ序次ニ依リ議

事ヲ取扱ヒテ命ヲ總議長ニ付ヨリ

毎組幹事一名ヲ公推シ傳達等

ノ一ヲ掌テラシム

第二十六條 議長ノ缺座スルハ其理由

ヲ議長ニ届出ス

第二十七條 議長ノ果除ク時錢ヲ以テ教

スル

議回

若七舟以立小郡學堂ヲ舊十一月迄

初ノ設置ノ儀若七村ニ議ヲ遂テ選ル

明治十二年一月廿九日議可ト上開議

因テハ此學堂創設ノ費用用乃ト修繕費

用等創始ノ際ヨリ去年四月十二月迄ニ支

拂マシメタルを以テ是日若七村ニ議

シテ是外ニ書寫籍簿入代金百拾圓

共以上金百拾圓若七村ニ議シテ

十七日若七村共有ノ御村字向堂知事

代金百圓田村津多人馬可免此意  
 其却代金七圓田村以上金三百圓  
 何リニ其辨トモ残リニ後五圓以或更ハ  
 名村有志者ヨリ其不貸金利子收入内  
 手以之辨トモナス然ルニ前記ニ百圓者有  
 初其却代金ヲ以之辨トモルニ其辨  
 一方法ヲ設ケ即チ現金ニ返付スルヤ得テ  
 其亦任辨トモ一思ハス辨トモルニ其辨  
 今之ニ年一更ニスルニ其辨トモルニ其辨  
 處辨トモ何

水

弟の案

弟壹号議案

指七ヶ村共有物取扱方及に使用

方取

弟壹号章

取扱方

弟壹條

指七ヶ村共有物取扱方委員或名ヲ

指七ヶ村聯合會議名ニ申ヨリ公

撰スハシ

但此條委員兩名ハ對シテ選出ス

取扱費トシテ毎季金指同キ

支派スハシ



第貳條

前條委負之權方法ハ聯合會議  
負之ヲ互推シ其投票多數ノ者ヲ  
採ル~~ル~~同~~ノ~~者推者ハ附ルル委任  
狀~~ハ~~

聖殿<sup>郡</sup>及吉敷郡南部指七ヶ村共著  
物件取扱委負ノ權ニ當リ權~~ハ~~  
純~~ク~~共有物諸權ニ在リ力~~ハ~~渾~~リ~~テ  
七ヶ村聯合會議決~~ス~~其~~ノ~~權~~ハ~~同~~ノ~~  
信~~ト~~シテ~~ハ~~確定也然~~レ~~以上ハ另任期  
中存~~シ~~力異議中~~ニ~~在~~ル~~者依~~テ~~

委任狀事件

年号月日

吉敷郡何村聯合會議決

日郡何村日

何系何集小

吉敷郡南部十七ヶ村共著物取扱委負  
何條何集殿

第參條 取扱委負ノ任期ハ本年七月~~廿~~日

本年七月~~廿~~日ヨリ~~テ~~十八年六月迄~~ニ~~至~~ル~~

年トス依テ六在期申村會々各稱  
合人會款負ノ需滋期ニ至ルト會モ  
取扱委負ノ需々其年期迄之レチ  
擔當スルモノトス

但來前アリ辭任スルモノハ本條  
ノ限リニアラス

第貳章

取扱委負ノ意勢

第四條

共有地所地目變換或ハ聯合會ノ  
決議スルニ依リ以テ之レチ棄賦スルコトア

ル中ハ其來件ニ關係スルレ文書ヲ  
調製成規ニ據リ之レカ取計ニテチ  
スルニ

但本條ノ取計ニテチスニ於テハ其  
都度十セテ長及上稱合會款  
負ノ款者スルモノトス

第伍條

共有金運轉利子金及レ元利便チ  
米金等之レチ取正理シ且取立方ニテ



第六條

委考を辨合會議（第六條）ニテ可成シ  
タル金多量に轉地あり願ケ方式ニ  
依テ辨合權ハ有ス云々專斷ヲ以  
其方法ヲ要スル濫用スル事得サ  
ルモノトス

第七條

前条及（第六條）ニ依ル共ニ  
運船利子地可領テ收盡並並重  
賦也入ノ考數ヲ以證ニ計算ニ  
年二月申二十七ヶ村ニ長并辨合  
會議員ハ轉地ニ入シ

第八條

但本條ニ對質疑アル申ハ委考  
之レヲ各辨スルノ責ヲ負フモノ  
トス

委考選期或ニ早クアリテ辭退ハ  
其後任者ニ為極ありニ委考ヲ  
書記ニ之レガ「（第六條）」  
子スハ三仍テ、（第六條）ニ  
十七ヶ村共有物作附海書

一

金何千何百何圓  
但け方別紙領ノ津書ニ過ル何葉  
共ニ相室



何月ヨリ何年何月迄何村何系  
何集ハ利子年何割何分何厘  
ノ方ノ事也

月防方古裏郡何村系何石何畝

字何

一 細地何石何畝何分

代何

付差ケ来禮ケ録

但別地相立地ノ如ク何年何月ヨリ

何年何月迄何村何系何畝

酒ケ方ノ事

以下各ノ倣ニ何種ノ石ノ形ノ書記スヘシ

一 諸帳簿何冊

一 諸論文何冊也

一 屋敷具何個

高部

吉ノ地ノ事ノ上係也

古ノ古裏郡何村系何石何畝何分何厘  
何種ノ石ノ形ノ書記スヘシ

河内縣志卷之五  
仍于上流中流之凡  
河

十七村考之在極東考

前後

十七村考之

十七村考之在極東考

前後

河内縣志卷之五

河内縣志卷之五  
仍于上流中流之凡  
河

十七村考之在極東考

前後

十七村考之

前後

河内縣志卷之五



何事の如き也

第三章

使用、件

第九條

其者地町正租及元方租は徴費  
等、頭等金、内租之、  
收佃スル

但第九條俾

第十條

其之金、定額、利不及、地町額、  
收者、及、金、十、毎、年、小、部、  
費、金、十、七、ヶ、村、  
辨スル

但第九條俾

其之金、定額、利不及、地町額、  
收者、及、金、十、毎、年、小、部、  
費、金、十、七、ヶ、村、  
辨スル

第十一條

其之金、定額、利不及、地町額、  
收者、及、金、十、毎、年、小、部、  
費、金、十、七、ヶ、村、  
辨スル

第十二條

其之金、定額、利不及、地町額、  
收者、及、金、十、毎、年、小、部、  
費、金、十、七、ヶ、村、  
辨スル



地蔵の書入し此書十八日非... 保徳人の中保徳人の中...

若三書讀の徳

一 宝何何何何何何也 徳と老宝

但利子来何割何多對レテ

付書入控方

引由去去送題何打方名何何直

よあ何

田代何多何何何ト

付代債

右に書敷部右に書敷部... 月ヨリ性中月ヨリ性中... 也知ルル上也知ルル上... 主何何何何主何何何何...

三ノ目

五ノ目

何条何事

左ノ部十七ノ部

何条何事

第拾二條 其ノ金運

カラス

第拾三條 其ノ金運

利ノ事

於ノ事

第拾四條 其ノ金運

利ノ事



第壹号 議案說明

今般十七ヶ村聯合村會ヲ開設スルノ要點  
タル十七ヶ村共有物ヲ永遠ニ保存各村落  
ヲ計畫益信證交際ヲ鞏固ニセンタメナリ思  
惟スルニ如今各村權限ハ此共有物ノ  
權利ヲ失墜スル由ヲ失忘スルヲ權限  
昔年以降<sup>諸</sup>交際<sup>モ</sup>自然<sup>ニ</sup>輕薄<sup>ニ</sup>流ル<sup>ル</sup>ノ  
有様實ニ嗟嘆<sup>ヲ</sup>至<sup>リ</sup>ナラスヤ因<sup>テ</sup>此共有物  
取扱方及ニ使用ノ法ヲ設クル<sup>ル</sup>聯合村  
會ヲ用キ其議決スル處<sup>ヲ</sup>シテ各村同心

一九二二年十月廿十



勦力以テ何事<sup>ヲ</sup>爲ス蓋<sup>シ</sup>其功ヲ羨セザルヲ  
得ニヤ茲<sup>ニ</sup>由テ此方案ヲ起シ議會ヲ開設スル  
所必也

弟の案

弟武号議案

指七と村公立少部 宗を建初を嘉  
地種承代金を難方法の件

弟を條 建初三種は信輝對百二種承代  
信は種武同を種武對初は向承下  
信は代信種は同を種武下を以上金百  
を同ニテ之ヲ種承スル也

弟武條 前條種承代金、指七と村ヨリ去る  
スルモノトス信テ其認出方法は地種



百四三石武老在戸別ヨリ三石武老  
支かスル

第三條

前條課出金請事并集第一條

二揚勸、種米代價百五圓五分

并七斗上割際金十小石米五石

外立費用乃至他諸君三石

才久凡共有金五石

金五石内ノ流用雜費

シ

百五十一上

第四條

第五條、揚勸シタル課出金百十七

石并種米代價百五圓五分

徴収セザル村才小石米五石

畢り上ヨリ五斗同村ノ儀十石

米七斗同村ノ儀十石

但前條并集百十七石村共有

揚勸種米代價百五圓五分

并七斗上割際金十小石米五石

外立費用乃至他諸君三石

才久凡共有金五石

金五石内ノ流用雜費

シ

但中條邊地及び石部等儀  
長へ信託スル

第五條  
元長邊地に於て石部等儀  
村等之形を招き合ふ事

第貳号議案説明

舊十一大區扱所過ル十二年郡區改正に據

り関鎖不用ニ居置其際遺憾余り十七ヶ村  
ニ益トナル計リ十七ヶ村扱議上小郡等

此歸へ設立セシテ各村落連署出願ニ認  
可ヲ得即チ之レヲ設セリ然ル處各郡區

舊大區扱所取調テ縣有賤産トナルキ  
モノ由ニテ一昨十二年縣廳へ建物敷地ト

モ附取ラレ其後客年六月之レヲ賣却  
ノ達シヨリ因テ固ヨリ十七ヶ村ノ形縁



アルモノニ付直ニ願建、上購求ニタリ茲ニ於テ純  
然十七ヶ村ノ共有物トナリタルハ此購求代金十七  
ヶ村ヨリ支出セサルヲ得ス右低價ノ儀ハ各自  
知ラル、處ニシテ是單ニ立小郡學舎ノ設置  
アルヲ以其ノ蓋蓋益ヲ酌量セラレ低價ヨリ以  
斯ニ拂下ケラレタルモノト思願ス茲ニ由テ之ヲ  
觀レ、雜談議案ノ課出額タルヤ相當ノ一ニシテ各  
村ノ義務トナシ此代金百匁内ヲ辨償其剩餘  
ナルモノハ之ヲ十七ヶ村共有金ニ組入レ永遠ニ  
保存シ其運轉利ヲ得タルモノハ弟屋号議

案第十條ノコトシ支辨セシマシ